

科目名	社会活動	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			法律学科	□必修 ■選択	
			国際学科	□必修 ■選択	
英文表記	Social activities	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年		
		開講期間	□前期 □後期 ■通年 ■集中		
ふりがな	きむら きよし いのうえ ひろし	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	木村 澄 井上 寛	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	さまざまな社会活動を通じて社会貢献を果たす				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. グループワークによる活動を通じて、人としての調和・協調性を身につける。 2. 社会活動を通じてコミュニケーション能力を高める。 3. 主体的かつ自発的に社会活動に取り組めるようになる。 4. 社会が抱える問題を発見し、解決する能力を高める。 				
授業概要	よりよい社会を目指すためにはどのようにすればよいのか。この問題意識に対して実践的に取り組む実習です。例えば、学修した知見を子供たちにわかりやすく伝える、地域の高齢者が元気になる取り組みをする、などを自ら考え、計画し、実行するPBL(Project Based Learning=課題解決型学習)に取り組みます。				
授業計画					
第1回	オリエンテーション	第16回	第2回社会活動の準備作業③		
第2回	PDCAの意義・活動計画と役割分担	第17回	第2回社会活動の実践①		
第3回	社会をとりまく諸問題に関する学修	第18回	第2回社会活動の実践②		
第4回	第1回社会活動の準備作業①	第19回	第2回社会活動の実践③		
第5回	第1回社会活動の準備作業②	第20回	第2回社会活動の振り返り：PDCAサイクルの実施（検証と改善）		
第6回	第1回社会活動の準備作業③	第21回	第3回社会活動の準備作業①		
第7回	第1回社会活動の準備作業④	第22回	第3回社会活動の準備作業②		
第8回	第1回社会活動の準備作業⑤	第23回	第3回社会活動の準備作業③		
第9回	実習における倫理・社会人の立ち振る舞い	第24回	第3回社会活動の実践①		
第10回	第1回社会活動の実践①	第25回	第3回社会活動の実践②		
第11回	第1回社会活動の実践②	第26回	第3回社会活動の実践①		
第12回	第1回社会活動の実践③	第27回	第3回社会活動の振り返り；PDCAサイクルの実施（検証と改善）		
第13回	第1回社会活動の振り返り：PDCAサイクルの実施（検証と改善）	第28回	活動報告書の作成①		
第14回	第2回社会活動の準備作業①	第29回	活動報告書の作成①		
第15回	第2回社会活動の準備作業②	第30回	成果報告会の実施		
		第31回	後期定期試験		

授業時間外の学習	社会活動を実施するには入念な準備が必須ですので、主体的かつ意欲的に参加してください。
履修条件 受講のルール	実社会をフィールドに取り組みますので、大学生としてふさわしい整容の学生、マナーをしっかりと守ることができる学生、率先して自分の能力を高めようとする志をもつ学生の受講を希望します。
テキスト	ポータルサイトにて適宜資料を配布します。(特定のテキストは使用しません)
参考文献・資料	適宜配布ないし授業内で案内します。
成績評価の方法	① 社会活動の準備・実践での参加・取り組み姿勢 (50%) ② プレゼンテーション試験 (30%) ③ レポート等の提出物 (20%) ※社会活動への意欲や貢献度を総合的に評価します。 ※出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、期末試験を受けることができません。
オフィスアワー	木村：毎週火曜日 3 時限 (13:00-14:30) および毎週木曜日 4 時限 (14:40-16:10) 井上：毎週月曜日 1 時限 (9:00-10:30) および毎週金曜日 2 時限 (10:40-12:10)
成績評価の基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	これまでも法学部では、幼児向けの「着ぐるみ劇」、地域の「除雪ボランティア・雪害調査」や「地域防災活動」、「高齢者向けの小旅行」など、さまざまな活動に取り組んできました。このような社会活動に参加することによって、地域社会が抱えるさまざまな課題を肌で感じ、人の役に立つ「社会貢献」の精神を培い、よりよい社会を創ることを目指して欲しいと思います。